

令和7年(2025)の新年にあたって

社会福祉法人ともり会
理事長 遊田 啓悦

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの脅威が去って、ようやく施設運営も落ち着いてきました、この間の皆様のご支援に改めて職員一同を代表して感謝申し上げます。

さて、当法人では日頃より、施設利用者の利便性向上に努めておりますが、いかんせん特別養護老人ホームみやもり荘は、建築から40年弱の年数を経ておりますし、障がい者支援施設高館の園も30年経過しようとしています。設備関係がだいぶ傷んできております、大規模な改修には利用者を一時的に仮設建物に退所させることが必要となります。そこで、建物インフラ設備の長寿命化を図ることが重要と考え、令和4年度に建物の耐力度調査を行い、建物の劣化は問題ないと判断されました。持続的な施設運営のため、設備の一部改修を計画的に進めて施設の維持に努めております。

施設の維持とともにマンパワーの確保が課題となっております。両施設で140名ほどの職員が働いていますが、そのうちパート職員が4割ほどを占めています。定年制を延長して常勤職員は70歳まで働ける環境を整えていますし、令和6年度からは大幅な賃金改善を行っております。パート職員の賃金も来年4月からは、さらに時給1,006円程度への引き上げを考えています。調理員、看護職員が特にも不足しており、ぎりぎりの状態で運営しております。職員の皆さんの奮闘には感謝申し上げます。

令和6年4月からモンゴルの技能実習生2名が加わり現在4名となっており、大きな戦力となっております。現在、ミャンマーからの技能実習生受け入れも関係機関と協議しており、人材確保に努力してまいります。

先ほど述べました障がい者支援施設高館の園では、30年という節目にあたり、記念の催しを2月に開催いたします。これまでのご支援ご協力に感謝を申し上げます。

施設運営にあたっては、職員一同これからも精いっぱい努力してまいります。今年が良い年でありますよう、お祈り申し上げ新年にあたっての言葉といたします。